

## 不安定狭心症患者の橈骨骨接合術を 超音波ガイド下腋窩ブロックで管理した1症例

矢鳴 智明 重松 研二 香取 清  
仁田原慶一 比嘉 和夫

福岡大学医学部麻酔科学

要旨：不安定狭心症患者の橈骨遠位端骨接合術の麻酔管理を報告する。80歳の女性で、右橈骨遠位端を骨折した。入院してから手術までの9日間で、安静時に胸痛発作が6回あった。術前の冠動脈造影で、右冠動脈に90%の狭窄があった。循環動態の変動を避けるために、全身麻酔は行わず、超音波ガイド下腋窩腕神経叢ブロックで麻酔を管理した。術中に手術部位の痛みを訴えることはなかった。しかしながら、手術室入室後より血圧が収縮期血圧で190 - 200mmHgと高く、虚血性心疾患を合併する患者の非心臓手術の周術期管理としては反省が必要であった。

キーワード：超音波ガイド下腋窩腕神経叢ブロック，末梢神経ブロック，不安定狭心症，麻酔